

ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030  
後期基本計画（案）及び第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）

## 子ども版（案）

（表紙）



# ふじみ野市って

上福岡七夕まつり(8月開催)  
(小中学生が好きなイベントの第1位)  
令和6年度に第70回を迎えます。

東口会場(福岡中央公園)、西口会場(ココネ広場)、上福岡駅周辺の各商店街で開催され、竹飾りコンクール、阿波踊り、市民盆踊り、ダンス、太鼓ショーなど様々なイベントが行われます。

おい祭り(7月開催)

(小中学生が好きなイベントの第2位)  
令和7年度に第25回を迎えます。

東久保中央公園やその周辺道路、大井東中学校体育館で開催され、子ども広場、山車の曳き回し、阿波踊り、よさこい大井など様々なイベントが行われます。



# こんなところ



子どもたちにはPDFで配布します。各施設をクリックすると施設のホームページに飛ぶようにリンクを作成します。



富士山ビュースポット  
(上福岡駅西口付近、新河岸川堤防、  
大井武蔵野、亀久保)

桜の名所  
(福岡中央公園、地蔵院、さくら通り、  
旧大井村役場、大井弁天の森)

※地図周辺に富士山ビュースポットからの写真、  
桜の写真を掲載します。

# 将来構想ってなんだろう

みなさんが日頃から安心して生活ができ、将来大人になっても住みやすく、住み続けたいと思うまちをつくるための、ふじみ野市の基本となる計画です。

市がめざす将来のまちの姿を決め、ふじみ野市に住んでいる人、働いている人、学校に通っている人など、ふじみ野市に関わるみなさんが取り組む内容をまとめています。

## 重点プロジェクト1 “オールふじみ野” まちづくりプロジェクト

市民と市が得意分野を生かし、それぞれが連携して力を発揮し、「オールふじみ野」でまちづくりに取り組みます。

【私たちにできること】

- 子ども会や地域の活動に参加してみよう

## 重点プロジェクト2 いきいき“元気・健康” プロジェクト

市民一人ひとりがいきいきと暮らせるよう、元気と健康づくりを支援します。

【私たちにできること】

- 早寝早起きを心がけ朝ご飯を食べよう
- 文化芸術に触れるイベントやスポーツイベントに参加してみよう

## 重点プロジェクト3 子育てするならふじみ野市・ こどもの未来を育むプロジェクト

子どもたちを地域全体で支える環境をつくれます。また、未来を担う子どもの確かな学力と自立する力を育てます。

【私たちにできること】

- 困ったことがあったら相談しよう
- 学習でタブレットを活用しよう

## 重点プロジェクト4

きょうじん

## 強靱なまちづくりプロジェクト

地震や豪雨などの自然災害に備え、安全・安心に暮らせる環境をつくれます。

【私たちにできること】

- 地域や学校の防災訓練に参加しよう
- お家の近くの避難所を確認しておこう

将来像

## 人がつながる 豊かで住み続けたいまち ふじみ野

令和12年(2030年)に向けたまちの将来像です。ふじみ野市は、子育て世代など若い世代が多く移り住んでいますが、これからも幅広い世代間で人のつながりが生まれ、助け合うことで「心豊かなまち」をつくり、「移り住んでみたい」「住んでよかった」、そしてこれからも「住み続けたい」と思うことのできるまちを目指します。

# ふじみ野市の人口

ふじみ野市の人口は平成7年から令和2年まで増加が続いています。今後は令和12年に最も多くなり、その後は減少していくことが見込まれています。その理由としては、仕事をする女性が増えて結婚する年齢が高くなったことなどにより、産まれる子どもの数が減っていることや、ふじみ野市に引っ越してくる人が、これまでの人数から予測すると今後減っていくことが見込まれているためです。

人口が減ると市のにぎわいが減ってしまいます。また、高齢者を支える人も減ってしまいます。人口を減らさず、住み続けていただくため、ふじみ野市をみなさんにとって良いまちにしたいと考えています。

今回作った将来構想の後期基本計画は人口が最も多くなる令和12年度を計画の期限としていて、今後の人口減少に備え、人口減少の克服に向けた取組や住み続けたいと思うまちづくりを進めるための取組が書かれています。

## 重点プロジェクト6 市のこと知って使って プロジェクト

市のことをもっと知ることで、サービスやイベントをさらに利用していただくため、情報発信に取り組みます。

### 【私たちにできること】

- 市の施設やイベントにでかけよう
- ふじみ野市のいいところを発信しよう

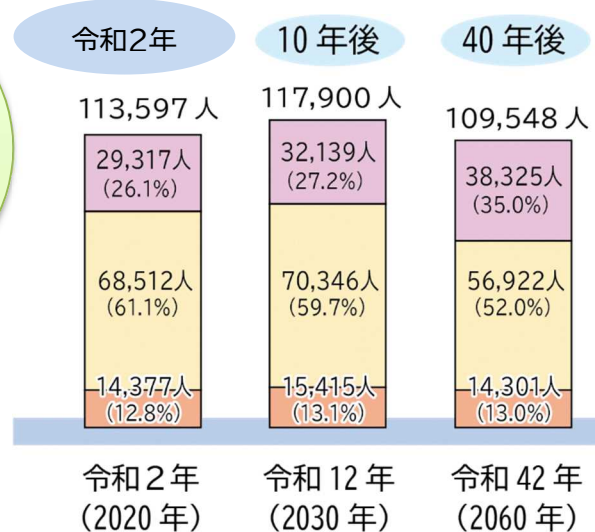
## 重点プロジェクト5 美しく活気ある暮らしやすい まちプロジェクト

自然と都市機能が調和した住みやすい快適なまちをつくります。

### 【私たちにできること】

- 電気はこまめに消そう
- 上福岡七夕まつりやおおい祭りにでかけよう

## ふじみ野市の人口は、どうなるのかな



- 65歳以上(老年人口)
- 15歳以上65歳未満(生産年齢人口)
- 15歳未満(年少人口)

※令和2年人口は国勢調査結果であり、総数には年齢不詳を含んでいます。年齢区分の表示等については、検討します。

# 住み続けたいまち「ふじみ野」

## ●小中学生が住み続けたいと思っています

小中学生アンケート結果(令和4年7月実施)

「大人になってもふじみ野市に住みたい、住み続けたい」と答えてくれた割合は小学生、中学生ともに60%以上です。

- ・小学5年生 **61.5%**
- ・中学2年生 **61.7%\***

※「進学などでふじみ野市から一時的に離れても、また戻ってきて住みたい」と答えてくれたものを含みます。

## ●市民の皆さんが住み続けたいと思っています

市民意識調査結果(令和4年7月実施)

市内に住む18歳以上3,000人を対象に実施した意識調査で、「住み続けたい」※と答えていただいた割合は**86.3%**で、高い割合になっています。

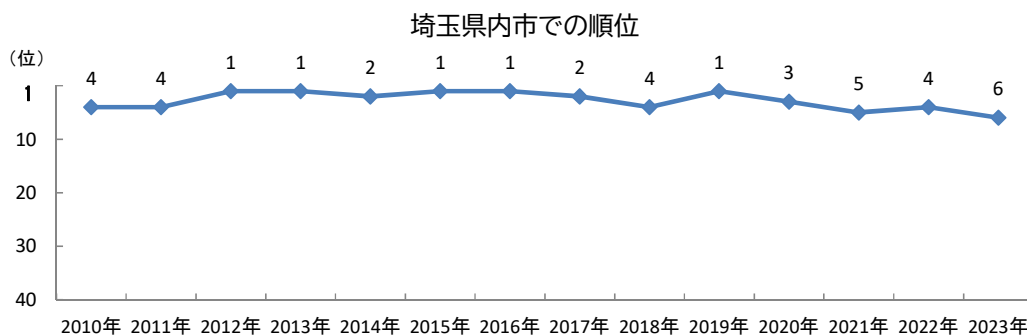
※「ずっと住み続けたい」「当分住み続けたい」の合計

## ●住みよさが評価されるまちです

「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」で評価される「住みよさランキング」において、**埼玉県内の40市の中で10年以上、上位に位置しています。**

※2022年まで10年以上連続で5位以内を獲得していました。

## 2023版 埼玉県内40市中 6位



【出典】「東洋経済新報社」の「都市データパック」

## ふじみ野市PR大使「ふじみん」

天然記念物にもなっている(しだれ)桜の花びらの妖精です。富士山ビュースポットから見る富士山を頭に、服には市章(ふじみ野市を表す「しるし」)、首には上福岡七夕まつりの飾り付けをイメージした色とりどりのスカーフをつけ、ふじみ野市の特色てんこ盛りにした愛らしいキャラクターです。



市章(ふじみ野市を表す「しるし」です。)

ふじみ野市の「F」の文字を基本として、輪は市民の繋がりを表しています。青色は新河岸川、緑色は武蔵野の自然をイメージしています。さらに萌え出る若葉から鮮やかな緑へと移り変わるデザインは、まちと自然の調和を図り躍進するふじみ野市を表しています。

## 後期重点プロジェクト

### 1 “オールふじみ野”まちづくりプロジェクト

誰もがいきいきと安心して生活できるまち

- みんなで協力・連携したまちづくり
- 市民団体の活動支援
- 誰もが参加しやすい居場所づくり
- 学校を核としたまちづくり
- 放課後子ども教室の充実

### 2 いきいき“元気・健康”プロジェクト

元気・健康で暮らし続けることのできるまち

- 生涯学習活動の支援
- 文化芸術に出会える場の提供
- スポーツに親しめる機会の充実
- 健康づくりと地域医療の充実
- 住民同士の支え合い、助け合い活動の支援

### 3 子育てするならふじみ野市・こどもの未来を育むプロジェクト

安心して子どもを産み育てることのできるまち

- 子どもと子育て家庭への支援の充実
- 地域で支え合う子育て支援体制づくり
- 保育施設の充実
- 地域との連携による教育の推進
- 教育力の向上
- 学習施設の整備・充実



## 4 強靱なまちづくりプロジェクト

自然災害に備えた市民が安心して暮らせるまち

- 水道水の安定供給
- 雨水・排水対策の推進
- 防災対策の充実

## 5 美しく活気ある暮らしやすいまちプロジェクト

にぎわいのある環境にも配慮した魅力あるまち

- 脱炭素社会の推進
- 良好な住環境の創出
- 地産地消の推進
- 地域経済の活性化
- 地域資源の活用による地域の活性化

## 6 市のこと知って使ってプロジェクト

市のことを知って、使ってもらうまち

- 幅広い年齢層への情報発信
- まちの魅力の発信
- 自治体 DX の推進

取組については写真やイラストを加え、4ページ、5ページと合わせて掲載するなど、子どもたちに見やすいデザインで作成します。

※解説が必要な言葉には注釈を記載します。